

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 8月 3日			
所属学部・研究科	経済学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	カーディフ大学 (国名: ウェールズ、イギリス)			
所属学部・学科等名	Cardiff Business School			
在籍身分	Exchange Student			
留学期間	平成 27年 9月 22日～平成 28年 6月 10日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Tier 4 Student VISA			
	ビザ申請先: イギリス領事館 (大阪)			
	取得方法, 提出書類: 事前に予約をし、カーディフ大学からもらった受け入れ許可証 (CAS ナンバー付)、IELTS の成績表、証明写真、現金数千円 (パスポート郵送費)、預金証明書 (英文) を持参し、大阪のビザセンターで手続きをし、約1週間後に1か月分のビザ付きパスポートが返って来ました。イギリス到着後1週間以内にBRP (1年分のビザ) を大学または最寄りの郵便局で回収する必要があります。			
	手続きに要した日数: 約1か月			
その他必要な事前手続き	National Health Service という国民皆保険への加入 (ビザ手続きと同時に申し込む)			
出国年月日	平成 27年 9月 15日			
経路	羽田空港→フランクフルト国際空港→ロンドンヒースロー空港→カーディフ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業開始の約1週間前に交換留学生向けの induction event に参加しました。それ以外にも新入生向けに様々なオリエンテーションがありましたが、任意のものがほとんどで、自分に関係ないものも多いので、何についてのオリエンテーションなのか事前に把握しておくといいと思います。			
帰国年月日	平成 28年 6月 23日			
経路	カーディフ→ロンドンヒースロー空港→羽田空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	171万	円	
	内訳	渡航費	20万	円
		保険料	11万	円
		教科書代(学費)	1万	円
		宿舍費	90万	円
		食費	20万	円
		その他 (VISA と NHS 費)	10万	円
	(旅行 費)	20万	円	
	(費)		円	
3. 授業について				

2015年 1学期	9月 22日 ~	1月 22日
2016年 2学期	1月 25日 ~	6月 10日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	交換留学生は基本的にどの授業も自由に組み合わせ、履修登録することができます。しかし、他スクールの授業を履修する場合はそのスクールの学生支援室に行き、授業情報を入手する必要があります。というのも、それぞれのスクールが独立しているため、年度初めの交換留学生向けの induction event では所属スクールの授業情報しか入手できないからです。また、カーディフ大学では履修登録は基本的に年度初めの1回しかありません。ネットに公開されている授業情報を参考に渡英前から十分にリサーチし、2週間の履修登録機関に興味のありそうな授業にできるだけ顔を出し、後悔のない履修選択をすることをお勧めします。	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	母国語を正確に使うことができこそ、外国語を使うことができることに意味を持つので、留学に来ているからと言って、英語にこだわりすぎず、授業等のために情報を収集する際は日本語も最大限利用することをお勧めします。私の場合は日本の新聞を毎日見ることや Kindle を使い、日本語で書かれた文献を定期的を読むことを心がけていました。	
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 m ²	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (5人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (テレビ、)	
住居費	1ヶ月当たり £520	約 8万円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	幸い私の場合はありませんでしたが、共同生活となると何かしらのトラブルは起こりうります。なので、初めにフラット内でのルールを決め、フラットメイトとのコミュニケーションを十分にとり、信頼関係を築くことは留学生生活を充実させるうえで欠かせません。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 円	補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機		

関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	NHS(National Health Service) という国民皆保険に加入することになっているので、無料で診断を受けることはできますが、評判は非常に悪いです。病院に行ったことがないので、真相は分かりません。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	基本的に水道水を飲んでも問題ありません。しかし、石灰が含まれているので、気になる方はミネラルウォーターを購入することをお勧めします。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
カーディフは非常に安全な街です。治安を含めた調査で、イギリスで住みやすい都市 No.1 に輝いています！		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
大学近くにある Korean & Japanese Supermarket で基本的な日本食は調達することができます。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に 卒業論文の執筆と卒業後の進路を選択するための十分な時間を確保するため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	ゼミ、INU セミナー、国内外のインターンシップへの参加	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前までに卒業に必要な単位をほぼ取り終えたので、単位互換が可能かどうかは気にせず、興味のある分野の授業を履修できました。	
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学期間は長いようであつという間に過ぎ去ってしまいます。だからこそ、勉強も大事ですが、それ以上にゼロから築いていく人とのつながりを大切に、1日1日を真剣に過ごすことを心がけてみてください。その一つ一つが留学後の他には代えられないかけがえのない財産になるはずです。		

学習の概要に関するレポート

私は 2015 年 9 月から 2016 年 6 月までの約 10 か月間、イギリス、ウェールズのカーディフ大学に留学していました。所属先は Cardiff Business School で、ビジネスを中心に学んできました。留学期間中は EU に関する理解を深めること、日本を客観的な視点で理解すること、基本的なアカデミックスキルを身に付けることの 3 つを軸に、European Business Environment、Economics of the EU、Cross Cultural Management、Japanese & Asian Management System、Introduction to Academic Study and Presentation Skills in the UK の 5 モジュール、各 20 単位の合計 100 単位を取りました。最大 120 単位分の授業を履修可能です。以下では、授業、試験、HUSA プログラムへの感想のそれぞれに関して述べていきます。

【授業】

広島大学の授業スタイルと大きく異なる点の 1 つは、講義形式の授業に加えて、少人数制のチュートリアルが 2 週間に 1 回、それぞれの授業にあることです。このチュートリアルにおいて、経済系の授業では演習問題の解説を受けることが基本でしたが、ビジネス系の授業では、講義で扱った内容に関して、学生間のディスカッションに重きを置いていました。そのためチュートリアルに向けての準備は非常に重要で、十分でなかったときは何もできないといったことも恥ずかしながらありました。しかし、十分な準備をすることで学べることは非常に多く、他の学生と意見を交換することで理解が深まりました。それに加え、Cardiff Business School に所属する学生のうち約 40%が留学生と言うことで非常に多様性に富む環境で学問に励むことができます。そのため、授業中、それぞれの国の制度や文化を比較することが頻繁にありました。イギリス人の学生だけでなく、ヨーロッパ、アジアを中心に世界中から集まった学生と共に学問に取り組むことができたのは大変貴重な財産です。こうしたダイバーシティな環境に身を置くことができるのは留学に行く醍醐味なのかなと思います。

【試験】

試験の形式はエッセイと 3 時間の論述の 2 つありました。エッセイを書く際はカーディフ大学が採用している Harvard Reference System に従い、出典、引用をしなければなりません。また、エッセイも自由に書いていいわけではなく、基本的な型を守る必要があります。広島大学でレポートを書く際に問われることはほぼありませんが、厳密にルールが決められているので、慣れないうちは苦勞するかもしれません。論述試験の場合はエッセイ程引用等に関して厳しくありませんが、基本的な型はエッセイと同じで守る必要があります。

【HUSA プログラムへの感想】

他の留学プログラムとの大きな違いは自律性が非常に大きく問われることだと思いました。というのも出発前の準備から留学期間中の過ごし方等、何から何まで基本的には自分で進めていくことになるからです。自分で進めていくことへの難しさはありましたが、今まで如何に人に甘えていたのかを知ることができた非常に良い機会でした。また、あらゆることへの選択の自由が与えられたため、自分はどうなりたいのか、何をしたいのかを考え、そして行動に移すことを習慣化できたと思います。もちろん多くの人の支えなしには成り立ちませんが、主体的に考え、そして行動することの重要性を留学を通して身をもって学ぶことができました。結びになりますが、このような素晴らしい機会をいただけたことに、国際交流グループをはじめとした大学関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

生活の概要に関するレポート

留学先のカーディフはウェールズの首都でありながら、大都会ではなく、かといって田舎でもない、住むには非常にちょうどいい場所でした。物価や治安等を踏まえたある調査によるとカーディフはイギリスで住みやすい都市 No.1 だそうで、個人的にも繁華街、駅、バスステーション、大学、大きな公園等あらゆるものがコンパクトにまとまっていたのと、それぞれが十分発達していたので、生活するには不自由はありませんでした。以下カーディフでは留学中の生活に関して、共同生活、言語、課外活動の3点を述べていきます。

【共同生活】

Liberty Cambrian Point という private accommodation で、リビング、ダイニング、キッチンで5人のフラットメイトと共有し、トイレとシャワールームが自分の部屋にある ensuit というタイプの部屋を借りました。家族以外と共同生活をするのは今までの人生で初でしたが、フラットメイトに恵まれ、記憶に残るかけがえのない時間を過ごすことができました。それぞれの異なる文化を教え合ったり、一緒に料理をしたり、旅行に行ったこと等、共に過ごした時間は一生忘れることのない宝物です。

【言語】

ウェールズでは英語に加え、ウェールズ語も公用語として存在しています。例えば、道路の標識やカーディフ大学のロゴには英語とウェールズ語が併記されていることから、2つの言語が共存していることが伺えます。とは言うもののウェールズ語を聞くことはほとんどなく、ウェールズ人の20%しか話せないと言われていました。しかしながら、独自の言語を持つことに代表されるようにウェールズ独特の文化を持っているため、留学中、随所で新たな発見があり、非常に勉強になりました。日本ではあまり馴染みのないウェールズですが、この報告書を読んでもくださった人が少しでもウェールズに興味を持っていただけると非常に嬉しいです！

因みにですが、ウェールズ語はウェールズの北の方に行くと比較的普及しています。北ウェールズに行った際は一瞬英語圏ではないような不思議な感覚になったことを覚えています。北ウェールズは言語以外にも、古城があったり、美しい景色に富んだり、観光地として非常にお勧めします。イギリスに足を運ぶ際はぜひお立ち寄りください！

【課外活動】

課外活動として、サッカーサークル、学生の海外インターンシップを斡旋をする AIESEC という学生団体、日本に興味のある学生が集まる Japanese Society の3つの活動に参加していました。授業だけでなく、こうした学生のグループに加わったことにより、友人の輪が大きく広がり、留学生活を一層実りのあるものにしてくれました。授業も大切ですが、それ以外にも留学中には多くの学びの機会が存在するので、目を向けてみると、知見が広がったり、大きな発見があるかもしれません。